

「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

絵画 × ミステリー

『謎解き西洋絵画』  
木村泰司 / 著 洋泉社

普段、テレビやポスターで見かけるような、日本でも有名な西洋絵画たち。それらはただ単に美しいだけの美術品ではなく、宗教や政治、作者本人の想いなど、ある一定のメッセージを人々へ向けて送る手段として製作されてきました。この本ではそんなメッセージを、作者や時代背景と共に解説していきます。

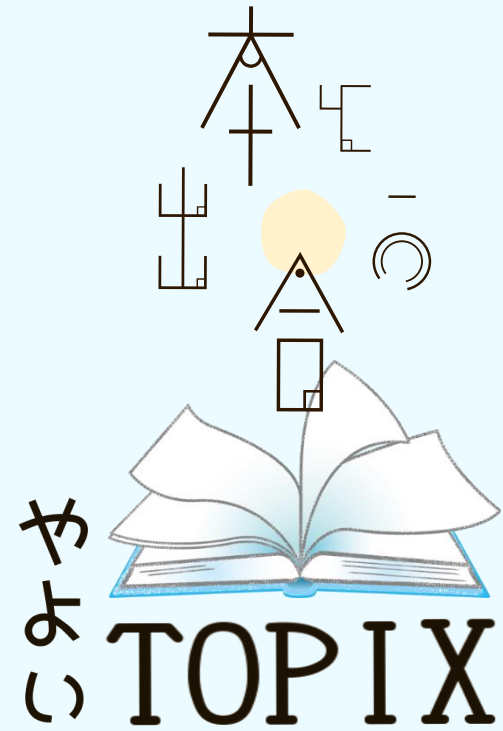
人物の表情やポーズ、部屋に置かれた小道具、構図やタイトル…。細かな部分に隠された意味を知ること、当時の西洋社会が見えてくる。そんな美術の新たな楽しみ方を知ることができる一冊です。(竹原)



館長が紹介する  
「印象に残った一文」とは？



『ゆめのはいたつにん』  
教来石小織 / 著 センジュ出版



図書館職員がやってみました。

こんにちは。手芸担当の丸山です。8月といえば、オリンピック！図書館内ではオリンピッククイズやプラジルに関連した企画が目白押しです。そんな中で、今回挑戦するのは、世界を身近に感じる「地球儀」です。



※絵本と実物を図書館内に展示しています。また、制作過程を facebook に公開しています。

アンティークが好きな私にとっても、古い地球儀は憧れ。ですが、さすがにそういった地球儀を自作するのは一般人には難しい。そこで今回は、パークラフトで地球儀を作りました。これは「geographia(ジオグラフィア)」という商品を真似たもの。では最初からその商品を買えばいいのでは？と思われるかもしれませんが、単にキットを組み立てるよりも、自分で作る方が面白い！というわけで、パーツ全てが自作の地球儀が誕生しました。しかし、地図も自作のため縮尺等はかなり適当。これではあんまり役には立たないかも…。でも、自分の手で地球を作るのは、ワクワクしますよ。(丸山)



「もう嫌だ。  
私はもう、自分以外の誰かのために生きたい——。」

著者は、カンボジアの子ども達に映画を届ける活動をしています。それは、脚本家という夢をあきらめた著者に降ってきた、人生をかけた実現させたい夢でした。しかし、いざやってみると、問題は山積み。その上、次々と新しい試練がやってきます。それでも彼女の周りに人が絶えないのは、彼女がブレずに前を見つめているからなのだと思います。活動の内容も素晴らしいですが、何よりも著者の人となりに惚れる1冊です。(丸山)

Vol.9

「LOVE 地球儀」  
スタジオタッククリエイティブ



第 27 回

原作本から入ってもよし、映画から入ってもよし。

次回は『超高速参勤交代』です。お楽しみに！

ルタニアン。田舎の少年が王宮の陰謀に巻き込まれ仲間とともに活躍する様子が描かれています。映画では敵味方ともに派手なアクションシーンが描かれます。勿論、銃士達のアクションはかっこいいのですが、ミレディを演じるミラ・ジョボヴィッチの動きがすごい。様々な罠がある場所に忍び込むのですが、それを物ともしないで破って行ってしまいます。また、バッキンガム侯爵のオーランド・ブルーム。「パイレーツ・カリビアン」で演じた朴訥な青年とは真逆の悪役っぷりもぜひ注目してください。映画と原作はかなり違うので、どちらから手に取っても両方楽しめます。(大塚)



原作『三銃士』  
アレクサンドル=デュマ / 著  
井上靖 / 企画編集 講談社

映画「三銃士 / 王妃の首飾りと  
ダ・ヴィンチの飛行船」  
ローガン・ラーマン / 出演

記念日から見つける、とっておきの一冊。



8月3日は「はちみつの日」。日本養蜂はちみつ協会と全日本はちみつ協同組合によって、1985年に制定された記念日です。

今回は、「はちみつ」にまつわる本を紹介いたします。

こんな本もありますよ 『女王バチの不機嫌な朝食』  
ハンナ・リード / 著 原書房

『ぎょうれつのできるはちみつやさん』  
ふくざわゆみこ / 著 教育画劇